

H26年度 第1回仁淀川地域アクションプランフォローアップ会議の概要

日時：平成26年9月3日（水）9:30～12:00

場所：日高村社会福祉センター2階会議室

1 議事等

(1) 産業振興計画関連 年間スケジュールについて
H26年度のスケジュールを説明

(2) 地域アクションプランについて

1) 第2期仁淀川地域アクションプランの進捗状況等について

・仁淀川地域の重点的な取り組みや、特筆すべき動きのあったアクションプランについてピックアップして説明

2) 事例報告について

・コスモス農業協同組合といの町商工会から地域アクションプランの取組事例を報告

3) 追加・修正等の案件について

・追加1件、修正2件について説明
追加

生姜等加工品製造施設整備事業

修正

No. 18 いの町商店街（仁淀川七色商店街）の活性化

No. 28 集客施設の整備による新居地区の活性化

・案について了承された

(3) 産業成長戦略について

1) 地域観光について説明

2) 移住促進の取り組みについて説明

2 意見交換

<産業振興計画関連 年間スケジュールについて>

特になし

<地域アクションプランについて>

・コスモス農業協同組合の事例報告に対して、トマト生産者に対する県の農業改良普及員の指導状況や、農協の営農指導員との連携状況はどうか。

→栽培基準をマニュアル化して指導に当たっており、品質の均一化が進み、収量の実績の推移からも徐々に成果が上がっている。営農指導員との連携では、巡回状況の報告を始め意見交換や連絡会等で技術的な情報共有等を行っている。

・いの町商工会の事例報告に対して、説明の中で全国展開支援事業の取組内容はどの部分なのか、また、いの町といえば紙というイメージがあるが、紙は事業で取り上げているのか。

→生姜を使った飲食店メニューの展開を中心に考えている。土佐和紙については、全国展開支援事業と合わせて、トリエンナーレ展の開催をきっかけに高知家プ

ロモーションの重点品目に取り上げられた。トリエンナーレ展では土日祝日に、直販スペースを設置して来場者への販売やバイヤーとの商談の場づくりを行うこととした。来年度に向けて、海外での土佐和紙の販路拡大のための支援策も検討している。

- ・追加案に対して、施設整備にかかる総事業費内訳について、その他の区分はどこが負担するのか。
→事業実施主体の自己資金である。

<産業成長戦略について>

- ・移住促進をテーマにした町の広報映像を作成しているが、県のホームページで取り上げられないか。
→県の移住ポータルサイト「高知家で暮らす。」で紹介する。
- ・仁淀川地域観光協議会への次年度以降の財政支援の考えは。仁淀川地域では誘客の成果が上がってきているので、もうひとつ手を差し伸べてほしい。
→県の産業振興推進本部会議の場で仁淀川地域観光協議会の活動を報告しており、知事にも協議会の事業内容、実績、課題を直接説明した。知事からは、広域観光協議会の充実・強化のための、新たな支援策を検討すべしという指示があった。観光振興部と調整して、例年12月に開催されている協議会の総会に間に合う形で情報をお伝えしたい。
- ・広域観光を進めるためには、域内の観光協会相互の連携の視点が必要だと思うが。
→事業を進めるに当たっては、市町村と一緒に考え、観光協会の連携や支援も考えていきたい。

■お問い合わせ先

高知県産業振興推進部計画推進課（地域産業担当）

電 話 088-823-9334

FAX 088-823-9255

メール 120801@ken.pref.kochi.lg.jp